



自動販売機が省エネタイプにかわりました



昨年の暮れ、「節電診断」を受診したときに、担当者の方から、自動販売機の消費電力も会社全体の使用量に少なからず影響していることを聞きました。会社によっては商品ディスプレイの照明を切って使用するなど工夫をしていることを学びました。そこで、当社が契約している自動販売機の管理元である、FVイーストジャッパンに相談したところ、こころ良く、最新の機械に交換してくれることを承諾いただきました。その交換作業が4月8日行なわれました。今後の電気使用量に効果があることを期待しています。皆さんも、電気使用量低減にアイデアがあれば是非、ご提案下さい。よろしくお願いします。

紙の分別をお願いします

一般廃棄物の排出量を減らす最大の決め手は、紙の分別と考えています。特に塗装品を梱包してくる茶色の厚紙は、ダンボールと同じ分類であることは、既に何度はお知らせして協力をさせていただき成果をあげていますが、お菓子の箱などもダンボールの仲間です。分別をお願いします。また、雑誌やカタログなど一度に出していただくより、その都度、少量でも良いので、こまめに出していただくことが、ごみの削減につながると考えています。



今月の生物多様性情報

涸沼が日本のラムサール条約候補に決まりました



今年の6月にウルグアイで開催される、ラムサール条約の新登録地候補として涸沼や涸沼川、涸沼前川流域など一帯が選出されたことが、環境省から発表されました。涸沼は汽水湖(真水と海水が交じり合う水域)として有名で、地域特有の貴重な生物が生息しています。皆さんが何気なく食べているシジミなどは、涸沼のものがたくさん出回っています。もう一つうれしい決定がありました。千波湖がラムサール条約候補として認められました。千波湖流域の桜川、逆川、沢渡川の湿地などが対象で、流域は宅地開発が進んでいますが、この一画が候補地となれば、保全活動に一定の意義が生じると考えています。自分たちの住んでいる地域、自然にもう一度目を向ける絶好の機会と捉えています。

社長コメント

～ 設備の変更で電気使用量削減を目指す ～



今月の環境用語



本年度も電気使用量の削減を、環境活動目標の一つとして取組みます。電気は当社が消費するエネルギーの中で、最も多く重要と考えます。先日、本社キュービクルのトランスを低損失型のものに交換したが、今後も、照明器具などをより消費電力の少ない設備導入を推進する。

「ラムサール条約」と「世界遺産」

ラムサール条約登録と世界遺産が良く混同されます。世界遺産は登録により観光資源として活用されることが多く、それに対しラムサール条約登録は、現状保全が最大の目的となります。安易な開発が出来なくなる事もあり、住民の正しい理解が重要になってきます。

今月の環境目標進捗状況

	今月の目標	今月の実績	今月の評価	本年目標累計	本年実績累計	累計達成率	全体評価
電気使用量の削減	16,443kwh	16,277kwh	(達成)	—	—	—	↑
一般ごみの削減	72袋	71袋	(達成)	—	—	—	↑
エコキャップを回収	849個	1,102個	(達成)	—	—	—	↑
美化活動の実行	—	—	—	—	—	—	—
生物多様性保護支援	—	—	—	—	—	—	—